秋のお遊び

兵庫縣住吉　甲南幼稚園

夏の暑い間は園外に出られなかつたが十月十一月の小春日和には園内にヂッとしてゐられない、寒くならない内に秋の取入れと一しよに子供の生活も中々忙しい。

ドングリ拾ひ

幼稚園の東北一五〇〇メートル位、六甲山の麓なる寶積寺といふきれいなお寺にドングリ拾ひに出かける。黄金色の稻穗、田の中の案山子、お百姓さんの畑に出て仕事をしてゐる有様、朝日にギラ〳〵と光る遠くの海、汽車が走る電車が走る、目にふれるもの皆子供の喜ぶものばかり、お寺の前のこんもりした森に分け入り柴をかき分けてドングリを拾ふ。

「先生私はもうポケットに一杯になりました」「私はまだ一つしか拾ひません」と見せに來る。

お寺でお辨當をいたゞいて面白く遊んで歸る。翌日は拾つたドングリでコマを造り等して遊ぶ。

お芋掘り

明日はお芋掘りと豫告して置く。朝から袋や、籠や、シャベルを持つて今日はお芋掘りだと大喜び（子供の爲に毎年植えつけて置く）幼稚園より四〇〇米位の處、電車の踏切り一つ踏切る事も無

く實に呑氣に芋畑に行く。小さい手にシャベルを持つて中々掘れない、たまたま大きな物でも掘り出したら鬼の首でも取つたやうな喜び、一つのつるを引上げて大きいのや小さいのが三つも四つも附いてくると「先生こんなもの」と大得意、人の取つた後ばかり探して一つも掘らずに芋のつる丈け入れてゐる者もある。大きな袋に一杯取つて一人で持ち切れず重たい〳〵と引づつて困つてゐる者もある。一度幼稚園に持ち歸り少ない人には多い人から分け與へ大概等分して持ち歸らす。

翌日はお芋のお話で大賑ひ「うちのお母様はお芋が大好きでお芋ばかり食べてゐる。」「うちのお兄様は大きいのを一人でたべて仕舞つた。」お辨當にも入つてゐる。斯うしてお芋を掘る樂しみばかりでなく冬籠りの虫を掘り出してお遊びのうちに色々な觀察をする。

菊見のお遊び

大きな人が小さい人を菊見に御案内しようといふ事で子供は菊畑に行つて菊の花を觀て來て色紙で花作りを初める。花びらの細かいのや大きいのや小菊大菊と思ひ〳〵に色とり〳〵にきれいなお花が出來る。粘土にて鉢をこしらへ植えるもの、大きな箱に砂を入れて植えるもの毎日こうして丹精して見事な花が澤山咲き揃ふ。今日はお客様がおいでといふので朝から裝飾に忙しい、お山に行つて（園内の小高い松林をお山といつてゐる）銀杏の葉、紅葉したる櫻の葉、つたのかづら、綠、の大きな八ッ手の葉等澤山集めてくる、それを黑い布にピンにて留めて背景が出來る、紙テープに落葉を貼りそれを前に垂らして前景が出來る、お客様を御案内してお遊戯をお目にかける、晝食を共にしてお菓子を頂いて歸る。

松かさ拾ひ

植木屋が松の手入で松かさの澤山ついたのを枝のまま伐り落す、子供達はそれをもぎ取りお山からころころところがし下に居る子供は掛聲面白くこれを拾ふ。かごに入れる、運ぶ、拾ひ集めたもの大きな籠に三杯。その樂しさは到底大人の想像も及ばない。若いまつかさが二三日經つてだん〳〵開いて種子のこぼれ出るのを觀察させる。その種を箱に蒔いて芽を出すのを樂しんで待つて居る。松かさは子供と相談して保育の材料になるのである。

こうして思ふ存分秋の自然に親しむ事の出來る子供の幸福と惠まれたる環境を感謝せずには居られない。

霜の夜や犬の子のなく緣の下　　驢牧

鳥なけど咳すれど谺なし冬木立　　立岳